

木版に抒情を刻む 高橋力雄展

Lyricism of the Woodcut
TAKAHASHI Rikio: Retrospective

会 期：2008年1月4日[金]—3月16日[日]
休館日：月曜日（ただし1月14日、2月11日は開館）、
1月15日（火）、2月12日（火）

観覧料：一般250（150）円、20歳未満・学生150（100）円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。

65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。

会 場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-8-1 tel:0467-22-7718

主催：神奈川県立近代美術館

たかはしりきお

高橋力雄（1917-1998）は、戦後の国際化の中で、独自の抽象木版画の世界を切り拓いた作家です。高橋は日本画家・高橋虎雄（雅号・虎山）の長男として東京に生まれ、10代の頃から父と写真スタジオの経営に携わっていましたが、戦後恩地孝四郎に師事し、実験的な抽象版画の制作を本格的に始めます。画業の進展とともに、作家の活動は、1960年代からアメリカを中心として繰り広げられ、また日本国内でも個展を重ねてゆき、1970年代には国際的に注目されはじめます。それらの作品では、京都、庭園、四季といった日本の伝統的な情景をモチーフとしながら、刷りを重ねることで深みを増した色彩と、大胆に抽象化した形態によって、木版画の可能性が追求されています。

昨年当館は、長女奥田西杜子氏の手元に残されていた遺品から、高橋が版画制作を始めた1940年代から晩年の1990年までの版画作品約500点の寄贈を受けました。本展では、そのうち作品約60余点を参考資料をまじえて展示し、高橋力雄の清新な抒情の世界を紹介します。

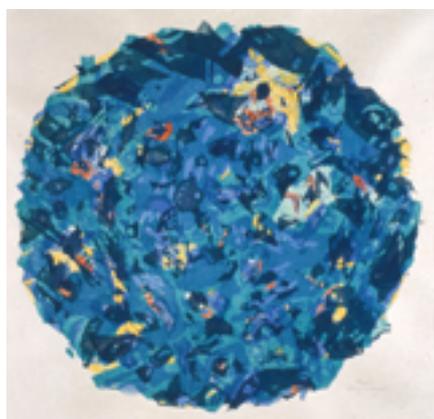


《静物》1950年 木版、紙

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2008年1月12日（土）午後2時—3時

参加無料 ※別途、展覧会の観覧券は購入願います（65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方の観覧料は無料です）
予約申込み不要（当日、2階展示室入口にお集まりください）



《Flourish》1966年 木版、紙



《Seasonal B》1970年 木版、紙



《Spring field》1972年 木版、紙

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2007r_takahashirikio.pdf

お問合せ先：神奈川県立近代美術館 鎌倉

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53 tel:0467-22-5000 / fax:0467-23-2464

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/> 広報担当：平井 展覧会担当：奥野・水沢